

広報すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

{ 11/1 }
令和4年(2022年)
No.2340

新型コロナウイルスに関する
最新情報はこちらで
ご確認ください

区では、区ホームページやツイッターで、
随時情報をお伝えしています。



新型コロナウイルス
感染症情報
(区ホームページ)



杉並区公式ツイッター
(地震・水防情報等)
@suginami_tokyo



ゆるやかな見守りと支援

特集

高齢者が安心して暮らせるまちへ

※撮影時のみマスクを外しています。

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> 📄 発行: 杉並区 📖 編集: 広報課

お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。
最新情報は、区ホームページをご確認ください。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。



高齢者が安心して暮らせるまちへ ～地域のゆるやかな見守りと個別の支援

全国的に高齢化が急速に進展する中、区でも65歳以上の高齢者は総人口の2割以上を占めており、今後も一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加することが見込まれます。コロナ禍の影響で地域におけるつながりも希薄になり、社会的孤立が懸念されます。

今号では、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせるように、地域や専門性を生かした「見守り」についてご紹介します。

——問い合わせは、高齢者在宅支援課へ。

皆さんができる

地域の 見守り・気付き

地域住民の皆さんや民間事業者など、地域のさまざまな方が、日々の生活や仕事の中で「あれ？ 普段と違う」と、高齢者の異変に気付くことが大切です。また、仲間と集い、サークルやボランティア活動に参加するなど社会に関わることも、見守りにつながります。

あれ？ 普段と違うかも…。区内で実際にあった異変のサイン



【新聞・郵便物が溜まっている】

いつもはちゃんと取られているのに、ポストや郵便受けから新聞、チラシ、郵便物などがあふれている場合、取れない状況にある可能性があります。



【同じ洗濯物が干したまま】

夜になっても洗濯物が干してあったり、同じ洗濯物が連日干したままだったりする場合、取り込めない状況にある可能性があります。



【サークルで最近見かけない】

以前は趣味のサークルによく参加していた方を最近見かけなくなった場合、体調などを崩して外出できなくなっている場合があります。

CHECK!

日常生活の中で、地域の皆さんが異変に気付いた際のご相談は…
地域包括支援センター（ケア24）、高齢者在宅支援課高齢者見守り連携係、民生委員などへ

●見守りの輪を広げませんか

地域のたすけあいネットワーク

あんしん協力員（ボランティア）やあんしん協力機関（団体）が、日常の見守りを行っています。異変に気付いた場合は、ケア24に情報提供を行います。あんしん協力員・協力機関の募集もしています。



●地域交流の場を探している方は

地域の集いの場情報検索システム

地域の高齢者が体操や手芸、お茶会などのさまざまな活動を行う地域交流の場所を「地域の集いの場」といいます。気軽に参加できる身近な「地域の集いの場」を検索することができます。



ICTを活用した見守り

高齢者緊急通報システム

自宅に通報機を設置し、急病時にペンダント型の救急ボタンを押すだけで、派遣員が現場に駆け付け、利用者に代わり救急車を要請します。



コミュニケーションロボット「BOCCO」

セキュリティ会社のセコムがBOCCOを通して声をかけます。BOCCOに話しかけるとスタッフが常時返答します。5年3月まで、実証実験を続け、効果を検証していきます。※実証実験のモニター募集は終了しました。



区内
20カ所

ちょっとした“おかしいな？”“困ったな…”があれば 地域包括支援センター（ケア24）にご相談ください！

高齢者が、身の回りのことで不自由を感じたとき、家族の介護のことで困ったときに相談できる身近な窓口で、区内20カ所に設置しています。気になる見守りサービス等があればご相談ください。

お近くの
ケア24はコチラ



区が取り組む

個別の 見守り・支援

高齢者がいる世帯などで、個別に見守りが必要な方には、訪問や電話による見守りを実施しています。また、認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく生活が続けられるよう、認知症サポーターの養成や「みまもりあいプロジェクト」（アプリを利用した認知症高齢者の見守り）などを実施しています。

高齢者がいる世帯へ

安心おたっしや訪問

自宅を訪問し、日常的に相談できる関係をつくるとともに、支援が必要な方には適切なサービスの案内をします。対象の方には毎年5月にお知らせを送付します。



高齢者安心コール

週1回、区が委託する民間事業者が電話を掛け、安否の確認をします。応答がなかった場合や異変があった場合は、指定の連絡先に状況を報告します。また、24時間365日体制で、日常生活における健康不安などの電話相談ができます。

保健師、看護師、
介護福祉士等が
常駐しています！

認知症の方や家族へ

認知症サポーター

認知症の正しい知識の普及を目的に、認知症サポーター養成講座を開催しています。認知症サポーターがチームとなって活動する「チームオレンジ」は、認知症の方や家族が安心して暮らせるように支援を行います。

講座の日時等は、区ホームページをご覧ください。



▲サポーターの証
オレンジリング

みまもりあいアプリ

スマートフォンを利用した認知症高齢者の見守りアプリです。認知症高齢者が行方不明になった際に、家族等がアプリから検索依頼を配信し、アプリに登録している方が可能な範囲で検索します。



徘徊高齢者探索システム

認知症の方が徘徊し、行方が分からなくなったとき、GPS等を利用して位置情報を探索し、早期発見につなげるシステムです。

